

令和4年度 生物基礎シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・1学年・A～H
教科書	高校 生物基礎(実教出版)	副教材等	ベストフィット生物基礎(実教出版)

1、学習の到達目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するた生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について 理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2、評価の観点及び方法

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
7つの北高力		徹底力・課題発見力	思考力・実践力・創造力	協働力・自己改善力
評価規準	A (十分満足できる ～探究・活用～)	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを身に付けるために努力した結果、理解が深められているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり、それまでの過程を見直したり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	B (おおむね満足でき る習得)	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを身に付けるために努力ができ、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を行うことができる。	見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析することができる。	生物や生物現象に関わり、見通しをもったり、それまでの過程を見直したり、振り返ったりすることができる。
	C (努力を要する 未達)	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを身に付けるために努力とともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を行うための努力を要する。	見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析するための努力を要する。	生物や生物現象に関わり、見通しをもったり、それまでの過程を見直したり、振り返ったりするための努力を要する。
評価方法		・定期考査 (知識を問う問題) ・プリント(記述分析) ・実験、観察	・定期考査 (論述等の問題) ・レポート、プリント (記述分析)	・レポート、プリント (記述分析) ・授業中の発言 ・教師による行動観察 ・生徒自己評価、相互評価

3、担当者からのメッセージ

(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

【課題・提出物等】

- ・実験や観察を行った際には、プリントまたはレポートを提出してもらいます。3観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の評価の材料となりますので、必ず提出してください。
- ・考査終了時に、該当範囲の授業プリントの提出をしてもらいます。3観点の評価の材料となりますので、必ず提出してください。また、その他の提出物があつた際も評価の対象となります。

【アドバイス】

- ・毎回の授業をまじめに取り組むことはもちろんですが、学力の向上には授業前後の家庭学習が不可欠です。特に授業後の復習を習慣づけましょう。
- ・身近な現象と関わりのある学習内容となっています。授業を通じて学んだことをもとに身近な現象などに対する理解を深めていきましょう。

【授業を受けるにあたって】

- ・授業では、教科書、資料集、問題集を使用します。必ず毎時間準備をしてください。
- ・プリントの保管方法については、授業担当の先生の指示に従ってください。
- ・実験や観察を実施する際は、管理棟3階の生物実験室を使用しますので、授業開始前までに指定された座席に着席してください。